

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

カルビー(株) 西日本事業本部 広島工場西棟

(2) 事業所の所在地

広島県廿日市市木材港北10-20

(3) 業種

その他のパン・菓子製造業

(4) 従業員数

297人

(5) 事業所位置図

別紙(平面図)のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26年(2014)年度を基準とする平成27年(2015)年度から平成31年(2019)年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当社は、環境の保全を経営の重要課題と位置づけ、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続的な社会づくりに貢献します。特に環境問題の中でも、とりわけ重要視されている地球温暖化防止については、自らの事業活動のみならず、当社の製品を使用する消費者の方々のことも配慮し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2. 方針

- ・省エネルギー、省資源の推進
- ・新エネルギーの導入促進
- ・廃棄物の排出抑制
- ・リサイクルの推進
- ・社員への環境教育の推進

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成25年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素	燃料の使用		5691	7159
	他人から供給された電気の使用		6437	6749
合 計		7,761	12,128	13,908

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素				
合 計				

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン				
一酸化二窒素				
HFC PFC SF ₆				

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産製品重量

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成26年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成31年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	13909	14139	0.984	5.0	17185	18380	0.935
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	6050	14139	0.4279	5.0	7471	18380	0.4065
目標設定の考え方	毎年 原単位で1パーセントを削減していく						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	都市ガスを原単位で1t/年削減	<ul style="list-style-type: none"> 食油熱交換器 <ul style="list-style-type: none"> ①伝導、放熱ロスの削減 ②排熱の有効利用 高効率GHPへの順次更新
2	電気使用量の削減	電気使用量を原単位で1kWh/年削減	<ul style="list-style-type: none"> インバーター型省エネコンプレッサへの更新 LED照明への更新 冷暖房温度の適正管理 不要照明の消灯徹底 市水使用量の節約
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

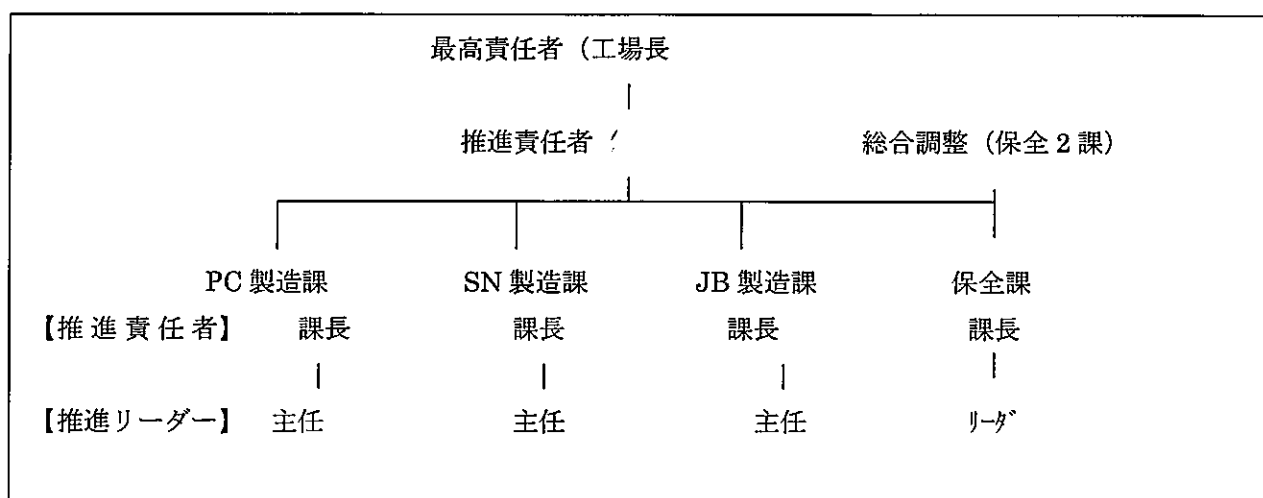
○ 環境に配慮した実践的な取組み

《記入例》

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物の減容化	廃棄物5t減容	脱水機の能力向上など
2			
3			

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

保全課を中心として、毎月省エネ計画、温室効果ガス削減効果の取り組み状況の把握、点検および問題点の検討を行う。全社的には、省エネプロジェクト会議において、定期的に評価・見直し等を実施し、継続的な向上を図る。

(3) 計画の公表

事業所に備え付けて閲覧する。